# 平成１６年１２月期　第３四半期財務・業績の概況（連結）

平成１６年１０月２７日

会　社　名　ニスカ株式会社　　(コード番号：６４１５　登録銘柄)
（ＵＲＬ　http://www.nisca.co.jp）
代　表　者　役　職　名　代表取締役社長
　　氏　　名　中里　賢次
問い合わせ先　責任者役職名　理事 管理部長
　　氏　　名　宇津　秀昭　　(Tel：(0556)22－6600(代表))

１．四半期財務情報の作成等に係る事項
① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 ： 有
(内容)
一部の連結子会社は、税効果会計に簡便法を適用しております。
② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 ： 無
③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無： 無

２．平成１６年１２月期第３四半期財務・業績の概況（平成１６年１月１日 ～ 平成１６年９月３０日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況　　（注）記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期(当期)純利益 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円　% | 百万円　% | 百万円　% | 百万円　% |
| 16年12月期第３四半期 | 33,712　(18.6) | 3,299　(39.1) | 3,447　(46.0) | 2,278　(42.9) |
| 15年12月期第３四半期 | 28,414　( － ) | 2,371　( － ) | 2,361　( － ) | 1,595　( － ) |
| (参考)15年12月期 | 38,550 | 2,816 | 2,762 | 1,888 |

| | １株当たり四半期(当期)純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益 |
|---|---|---|
| | 円　銭 | 円　銭 |
| 16年12月期第３四半期 | 222　04 | ― |
| 15年12月期第３四半期 | 155　37 | ― |
| (参考)15年12月期 | 180　07 | ― |

(注) ① 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。
② 平成15年12月期第３四半期の開示は行っておりませんでしたが、当第３四半期と同様の方法により算出した結果を記載しております。

［経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等］

当第３四半期までの我が国の経済は、企業収益の増加や株価の上昇が見られる中、設備投資が製造業から非製造業まで拡大し、雇用情勢の改善により個人消費にも底堅さが加わるなど、景気の回復基調が続きました。

当社グループ関連市場におきましては価格競争が激しさを増す中、複写機市場ではカラー機の需要が拡大し、ビデオカメラ市場ではＤＶＤに録画できる製品が好評でしたが、双方とも市場全体は横ばいで推移しました。デジタルカメラ市場は出荷数量が拡大しましたが、販売競争の激化により製品価格が一層下落しました。

このような環境の中、積極的に営業活動を展開しました結果、主力のペーパーハンドリング事業及びスキャナ事業が伸長し、当第３四半期までの売上高は３３７億１千２百万円（前年同期比１８．６％増）となりました。

一方、利益面につきましては、原価低減活動や高付加価値商品の売上増加に加えて、販売費及び一般管理費の抑制に努めました結果、当第３四半期までの営業利益は３２億９千９百万円（前年同期比３９．１％増）、経常利益は３４億４千７百万円（前年同期比４６．０％増）、純利益は、厚生年金基金の解散や投資有価証券売却などによる特別利益の計上により２２億７千８百万円（前年同期比４２．９％増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績概況は次のとおりであります。

① ＯＡ機器関連事業

ペーパーハンドリング事業では、当社グループが積極的に提案営業を行ってまいりました中綴じ機能付きフィニッシャやカラー機対応の自動原稿送り装置などが、複写機をオンデマンドプリンティングに利用したいという需要と結びつき着実に販売を伸ばすとともに、毎分７０枚以上の高速機に対応したフィニッシャも売上に貢献しました。

スキャナ事業では、ＭＦＰ市場が順調に推移する中、ＭＦＰ用Ａ３判カラースキャナを中心に売上